

令和8年度（学び続ける教師を応援する）しまだい学校教員研修 ※ハイフレックス型

研修名	Q-U 調査を活用した児童生徒理解、学級集団理解に基づく教育実践のあり方 （※反復開講）							
資質向上に関する指標（文科省）	教職に必要な素養 特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応		プログラム指標 （しまだい）	子ども支援				
キャリアステージ	自立・向上期（1～10年目）	○	研修レベル	基礎（学部1・2年レベル）				
	探究・発展期（10～20年目）	○		応用（学部3・4年レベル）	○			
	充実・円熟期（20年目以降）			発展（大学院レベル）				
開設日	令和8年7月23日（木）午前		時間数	3時間	受講定員 30名			
会場（対面）	山陰教員研修センター （島根大学教育学部附属義務教育学校 前期課程に併設）		所在地	島根県松江市大輪町416-4				
授業形態	講義、ワークショップ		対象校種	幼	小	中	高	特
					◎	◎	○	○
実施方法	対面（集合型）またはYouTube Live 視聴（オンライン非同期型）のいずれかを選択）		対象教科	全教科				
			対象職種	広く学校教育関係者				
担当講師	川俣 理恵（島根大学教職大学院 准教授）							
研修内容	児童生徒理解や学級集団の理解に活用されているQ-U調査について、理論的な背景や結果の分析の仕方を学び、生徒指導や教育相談、学級経営など、日々の教育実践にどのように役立てることができるのかについて考える。							
日程 ※研修の進み具合によっては、予定時間を変更することがあります。	時間	内容 ※研修中は適宜休憩をとります。						
	8:40～9:00	受付 ※YouTube Live 視聴開始						
	9:00～9:10	オリエンテーション						
	9:10～10:30	Q-U調査による児童生徒理解の基本的な考え方						
	10:30～12:00	返却されたQ-U調査結果の教育実践における活用のあり方						
	12:00～12:15	「実施後アンケート」記入・事務連絡 ※「研修の課題・振り返り」の記入は研修時間内で随時						
研修に関して各自準備するもの	<p><u>（対面で受講する場合）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 募集要項に記載の携行品等をご持参ください。 <p><u>（YouTube Live 視聴で受講する場合）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> YouTube Live が視聴できるようパソコン、ネット環境の準備をお願いします。 YouTube Live の URL、研修中の質問フォームの URL、研修課題入力用の書式、課題提出用フォームの URL、実施後アンケートの回答フォームの URL 及び講義資料は教師教育研究センターホームページより入手してください。その際のホームページの URL 及びパスワードは受講決定後お知らせします。 							
事前課題	・特になし							

その他

- YouTube Live 視聴で受講された方は、研修課題は課題提出用フォームにアップロードし、実施後アンケートは回答フォームに入力し、送信してください。
- YouTube で配信された動画は、配信日を含めて3日間、視聴することができます。
- 講義の内容に関する質問等に、メールで対応します。

rkawamata@edu.shimane-u.ac.jp まで、ご連絡ください。

※本講座は、8月4日（火）鳥取県教育センターで実施する講座と同じ内容です。